

# 1 部

学習サポート

## 各種申込締切について

『試験・スクーリング情報ブック』にてご確認ください。

- ・ 学年暦→2016年度版・2017年度版 p. 4～5
- ・ 通信教育部カレンダー  
→2016年度版・2017年度版 p. 6～9
- ・ 社会福祉士 演習・実習科目関連締切等  
→2016年度版 p. 45～48 2017年度版 p. 38～41
- ・ 精神保健福祉士 演習・実習科目関連締切等  
→2016年度版 p. 49～51 2017年度版 p. 42～44

## 3 / 27～5 / 7の追加・変更点

追加・変更はございません。

2016年度以前入学者は、2017年度開始にあたっての変更・留意点を『試験・スクーリング情報ブック2017』 p. 30～34で必ずご確認ください。

# ご卒業おめでとうございます

通信教育部長・教授 寺下 明

晴れて東北福祉大学通信教育部を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

日本の大学は、入るのは難しく、出るのは簡単といわれます。しかし、入るのは簡単、出るのが難しいのが大学通信教育です。皆さんの多くは、仕事をもちながら、あるいは、子育てや家族の介護をしながら、通信教育の課程で学ばれたことでしょう。入学以来今日まで、一言では言い尽くせない困難があったことと推察いたします。

ここに皆さんが初志を貫き、学士課程を無事終了され、学位を得られたことに深く敬意を表するとともに、心よりお慶びを申し上げます。同時に、これまで皆さんを支えてこられたご家族や関係者の皆さまにも大学として篤く御礼申し上げます。

卒業を意味する graduation の語源は、ラテン語の (gradus) 一歩踏み出すという意味だそうです。卒業を終わりという意味ではなく、これからの新たな出発と考えたいと思います。卒業される皆さんは、本学での学びは一旦終了することになりますが、これで学びが終わるわけではありません。先行き不透明で、問題が山積する今日、皆さんは、また新しい目的にむかって、再び学び直しの生活が続いていくものと思われます。

東北福祉大学は、仏教の教えである「行学一如」を建学の精神としています。行学一如とは、学問の研究と実践とは一体であるということです。理論は、経験や実践を通してつねに検証され高められていきます。新しいアイディアは知識と問題意識とのぶつかり合いで生まれます。

こうした、理論と実践の融合による人間形成こそが、本学の教育理念であります。このような理念のもと、目指すところは、個々人がそれぞれ力

を出し合い、互いに支え合いながら「自利利他円満」な社会を実現することです。本学が建学以来、受け継いできた大乘仏教の精神です。

「世界が全体に幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」。宮沢賢治の有名な言葉ですが、これはまさしく「利他」そのものです。東日本大震災後の日本人の様々な助け合い、「共生（ともいき）」の姿が広く世界に報じられたことはまだ記憶に新しいところです。そのことに世界は驚き、日本人を見直しました。これからは、政治や経済だけでなく、自然災害やテロリズムの危機も国境を越えた人びととの「共に生きる」という考えが重要になります。

生きるという個々の営みと、共にという他者を意識した精神は、原理的に対立するものではないはずですが、この先、皆さんの前途には、さまざまな困難が予想されますが、「行学一如」と「自利利他円満」という原点への意識をつねに忘れないで、問題の解決に向かって努力をしていただきたいと思います。それが、本学の建学の精神を実現することと信じています。

卒業される皆さんが通信教育の課程で学びとった成果は、今後の人生を生き抜くうえで大きな資産となるはずですが、通信教育部では、皆さんを誇りに思い、これからもさまざまな立場で活躍されることを、ずっと応援しております。